

安全報告書 2020



1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取組
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ

「安全報告書2020」の公表にあたって

秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 大谷 隆 男

日頃より、秩父鉄道ならびに当社グループをご愛顧賜り、誠にありがとうございます。
また、沿線地域の皆様におかれましては、鉄道事業運営に格別なるご理解とご支援を賜り、
厚く御礼申し上げます。

当社グループは、鉄道事業を柱として事業展開していることから、公共交通機関としての「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全確保、無事故無災害の達成を最優先課題に掲げております。この目的の達成に向け、全役員・従業員が、安全に対し常に意識して業務にあたるとともに、近年頻発・激甚化する自然災害などに対応すべくソフト・ハード両面における取り組みを強化してまいります。2019年度は引き続きコンクリート枕木化、継電連動装置の更新などを計画的に実施したほか、熊谷駅ホームの嵩上げと内方線付き警告ブロック、転落防止柵の設置を行うなど、バリアフリー化にも努めました。本報告書は鉄道事業法に基づき、2019年度における安全輸送のための取組や輸送の実態を紹介するために発行いたしました。皆様方の声を、今後のより一層の安全性向上に役立てるため、率直なご意見とご感想をお聞かせいただけると幸いです。



2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 基本方針

『輸送の安全確保、無事故・無災害の達成』を最優先とし、社員一人ひとりが行動するための基本方針を、「安全行動規範」として全社員に周知しています。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守、徹底します。

“スローガン”「責任事故・重大インシデント^{ゼロ}」の継続

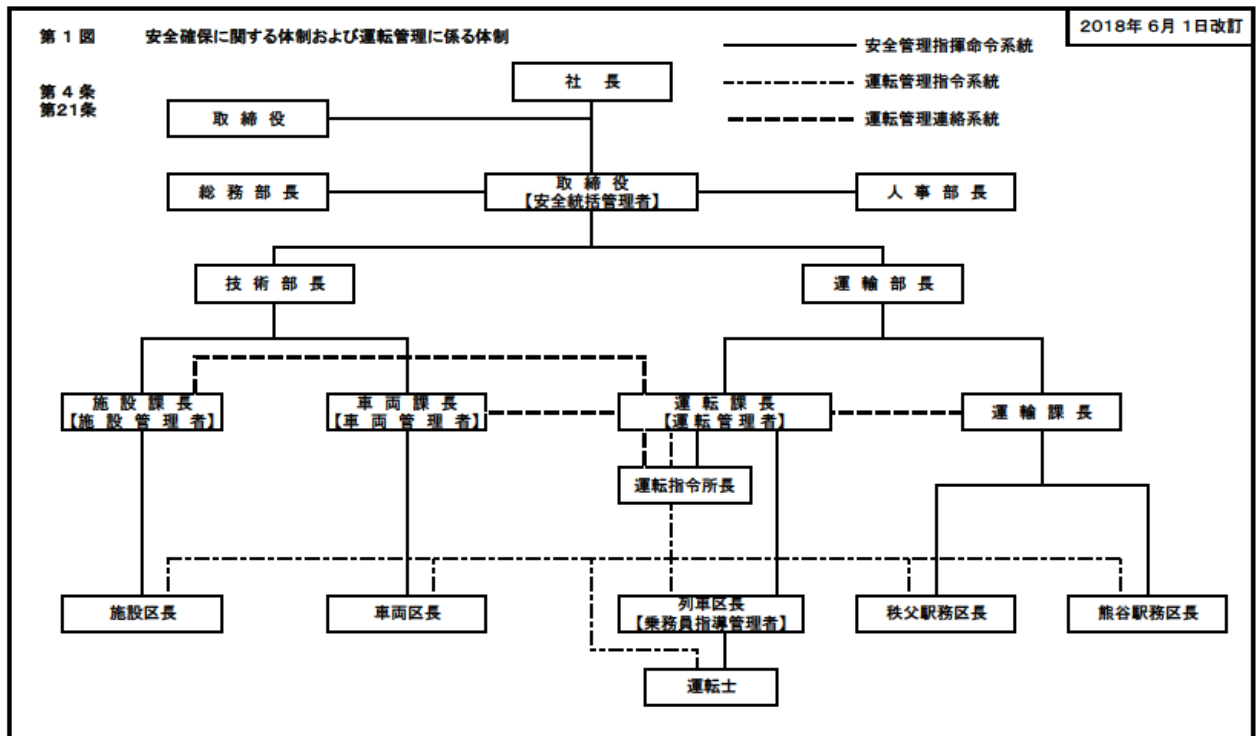
3. 安全管理体制と方法

(1) 組織体制

2006年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めています。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技 術 部 長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人 事 部 長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



(2) 安全管理の方法

① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的に、鉄道全般にわたる事故防止、災害防止、テロ対策等、安全施策に関し、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開



催し、輸送障害、事故、不具合等が発生した場合の多面的分析、再発防止施策の立案、審議、ヒヤリハット報告事項等の対策を検討し、その処置の確認等を行っています。また、ヒヤリハット報告の内容をリスクレベル化し、リスクに応じた対応に取り組んでおります。また、年2回同委員会にて現業職場において適切に業務がおこなわれているか点検するための安全指導（巡回・列車添乗・職場訪問）を実施し、現業職場の実態の把握に努めています。

(経営トップ・安全統括管理者出席の運転事故防止対策委員会の様子)

② 職場巡視

安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図る目的で、夏季運転無事故運動、年末年始輸送安全総点検の運動期間中、社長、役員、各部課長が現業職場を巡回訪問し、現業所属員と直接対話を行い、安全に関する取り組みや実作業を視察し安全意識の高揚を図っております。



年末年始輸送安全総点検職場訪問



夏季運転無事故運動 駅務区職場巡視

③ 内部監査



鉄道輸送の安全に関し、関係各部署の安全管理体制の取組が構築され、なおかつ適切に運用・機能しているか確認することを目的とし、なおかつ、継続的になされているかを確認しております。監査の実施として、社長（経営トップ）へは、一年間の安全管理体制の向上に向けた取り組み状況や安全統括管理者を通じ、台風等の自然災害に対する指示等、適切かつ積極的に関与していることを確認いたしました。

現業職場長に対しては安全管理規定、その他の規定等の見直しの他、前回の内部監査で指摘した事項について見直しや改善がなされていることを確認しております。

（経営トップ・安全統括管理者・運転管理者とのインタビュー風景）

4. 輸送の安全への取組み

2019年度も列車運行の安全性の確保・維持と改善、旅客サービスの向上のため、安全対策、修繕工事を実施しました。これらのうち主な安全への取組みについてご紹介いたします。

安全重点施策

2019年度の安全対策工事と主な修繕費

安全対策更新工事	298,474千円
主な線路修繕工事	120,394千円
主な電気修繕工事	22,119千円
主な車両修繕工事	62,720千円
計	503,707千円



彩色兼備ラッピング車両

(1) 2019年度の安全対策工事

施設関係

① 継電連動装置の更新

羽生～三峰口駅間の31駅に連動装置が設置されています。2007年度から経年が進んでいる箇所より順次更新を進めております。2019年度は波久礼駅を更新いたしました。今後も計画的に更新を進めてまいります。

② コンクリート枕木化

列車が高速で走る区間や貨物列車を運転している区間から順次木枕木をレールの締結力が強いコンクリート枕木に交換し、レールの劣化を防ぐとともに乗り心地の向上を図っています。2019年度は2,039丁のコンクリート枕木に交換しました。今後も計画的に進めてまいります。

③ 並・分岐・橋・継目枕木交換

経年劣化した並枕木、分岐枕木、橋枕木、継目枕木2, 4 4 2丁の交換を実施しました。

④ 軌道整備

道床碎石を1, 6 2 0 t 補充のうえ、マルチプルタイタンパーによる軌道整備を6 8, 6 4 4 m 実施しました。

⑤ 踏切道の安全性向上

2 0 1 9 年度は第1種踏切の1ヶ所に支障報知装置（押しボタン）を設置し、踏切道の安全性向上を図りました。

⑥ 踏切保安設備の主要機器の更新

秩父本線と三ヶ尻線の第1種踏切道の既設踏切保安装置について、経年した踏切遮断機4 1台の更新を実施しました。

⑦ 架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線1, 8 5 9 m の張替えを実施しました。また、経年磨耗した電車線を7 0 0 m 張替えました。

(2) 車両関係

① 2 0 1 9 年度の主な車両修繕工事

8 4, 2 9 1 千円

② 2 0 1 9 年度の車両機器更新

2 0 1 9 年度は昨年に引き続き電気機関車の主電動機・電動発電機・送風機・艀装線の絶縁低下による故障防止を図るため、更新工事を行い、非常用蓄電池も経年劣化のため更新いたしました。電車については7500系・7800系のSIV電源装置並びに制御装置、5000系のSIV電源装置の更新工事を行いました。さらに、12系客車の車体老化に伴う車体延命工事を行いました。今後も車両故障防止を図るため、計画的に進めてまいります。

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

各現業職場において、夏季運転無事故運動など年4回実施される運動期間中に車両応



急処置訓練、高所作業訓練、乗務員教習等を実施する他、鉄道技術講座の受講（施設関係・車両関係）や外部機関より講師を招いての研修会（軌道管理手法）等、係員の知識、技能の維持と向上を目的として取り組んでいます。

運転士見習い構内訓練風景



夏季運転無事故運動（異常時訓練）



夏季運転無事故運動（異常時訓練）



運転課による新入社員「運転取扱実施基準」の教習風景

（２）異常時総合訓練

この訓練は、踏切事故等重大事故が発生した場合を想定して、お客様の避難誘導、関係箇所への連絡速報体制、負傷者の救出と復旧作業等、異常時における知識・スキルの向上を目的として2020年2月5日に当社技術部・運輸部及び埼玉県秩父消防本部員による合同異常時総合訓練を実施しました。



安全統括管理者より異常時総合訓練挨拶



衝突車両初期消火



事故復旧本部



現地責任者と列車運転士



現地責任者が消防隊へ状況報告



現地責任者と消防指揮隊長との綿密な打合せ



レスキュー隊と鉄道係員との共同救出訓練



秩父消防から第一訓練の講評

(3) 2019年度 鉄道テロ対応訓練

各職場での異常時訓練は年間の各運動期間で実施しておりますが、2019年は熊谷市でラグビーワールドカップの試合が開催され、また2020東京オリンピック・パラリンピックでは、埼玉県内の施設が競技会場となっており、テロの標的となる危険性が高まっていることから、初期対応の強化と危機意識を高めるため熊谷市消防本部さまのご協力を得て2019年7月11日「鉄道テロ対応訓練」を実施いたしました。



訓練開会式（参加者整列風景）



安全統括管理者開会挨拶



駅係員による旅客の避難誘導



救助隊の到着



不審物の拡散防止作業・救護活動開始風景



救護者の搬送



救護者の除染作業



救護者の搬送確認完了（訓練終了）

(4) 防災訓練（減速運転・異常時出動訓練）

毎年、9月1日の防災の日または防災週間に大きな地震が発生したことを想定して、列車の減速運転、関係個所への情報伝達を行い、橋梁等の施設点検を現地に出動し確実な安全作業が行えるよう訓練を実施しています。



点検を指示する運転指令所員



線路設備を点検する施設班員（保線班）

6. 鉄道事故等に関するご報告

2019年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は以下のとおりです。

「鉄道運転事故」 5件（踏切障害事故5件）

* 鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身事故、鉄道物損事故をいいます。

「輸送障害」 9件（自然災害3件、部外原因2件、部内原因4件）

* 輸送障害とは、列車の運転を休止したもの、または、30分以上の遅延を生じたものをいいます。

「インシデント」 0件（施設障害0件）（車両障害0件）

* インシデントとは、運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

(1) サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2019年度は新たに10名が取得し、駅係員31名、列車乗務員15名、その他含め全75名が資格を取得しております。

(2) AEDの設置

秩父鉄道では、お客様の急病等万一の事態に備え羽生、熊谷、明戸、武川、永田、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

(3) こども110番の駅

通学や学習塾などに通うため鉄道を利用するお子さまが、より一層安心して駅を利用することができる環境作りを目指し「こども110番の駅」の取組に参加しています。こどもを危険から守り、安全な地域づくりに貢献することを目的に積極的に推進していきます。

